とよあけ 市議会だより No.261

TOYOAKE



特集 議会報告会

令和7年1月緊急議会、3月定例月議会

2025年 5月号

つまみ細工「こいのぼり」

第1部

各常任委員会の報告

特集

議会報告会

令和７年１月18日(土)市役所ホール（豊明市役所　本館２階）にて豊明市議会 議会報告会を開催しました。
寒い中、多くの市民の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。



報告会にご参加いただいた皆様へ毛受議長より感謝の言葉と挨拶

総務委員会の報告内容



①小中学校屋内運動場等空調設備設置工事設計業務委託
【予算33,550,000円】
令和７年から令和８年にかけて公立の小中学校屋内運動場にエアコンを設置するための工事設計業務。
令和７年　小学校屋内運動場８カ所
令和８年　中学校屋内運動場及び武道場６カ所
②緊急用給水栓設置事業
【予算2,832,000円】
災害時に避難所となる学校で飲料水を供給するための給水栓を取り付ける工事。
小中学校の給水タンク12カ所に蛇口を取り付ける。

①ひとり親家庭等自立支援給付金「高等職業訓練促進給付金」
【3,166,000円増額】
ひとり親家庭の保護者の方が就職に有利となる資格の取得と経済的自立支援のための生活費を支援する制度。
②“まごころサポート便”事業
【事業費12,697,000円】
物価高騰などの影響を受け、生活にお困りの方の生活支援に取り組むため、食料品を中心に生活物資を無償で提供する事業。
③介護施設等整備事業補助金
【補助金48,105,000円】
市内にある特別養護老人ホームにICT機器を導入するために必要な経費を補助するもの。県からの補助の対象事業で補助率は100%。

健康福祉委員会の報告内容



建設文教委員会の報告内容



①三崎水辺公園改修工事
1）インクルーシブ遊具の設置
2）浮き橋から桟橋へ・遊歩道の改修
3）駐車場27台程度に増設・トイレ洋式化
4）イベント広場の増床
②土地区画整理事業
1）柿ノ木工業団地整備事業は企業用地12区画を整備し法人市民税や固定資産税等の継続的な収入や雇用を確保。
2）間米南部土地区画整理事業は住宅用地571戸1,290人分を整備し転入促進を図る。
③新学校給食センター
新たに1つの給食センターをPFI方式にて建設し、現在ある2つの古い給食センターを廃止する。



議会ホームページで
報告書を公開
しています

第2部 意見交換会

総務委員会



主な意見

○エアコンの設計業務委託3,355万円は設計のみか。職員でできないのか。
○キュービクルの位置でこんなに費用がかかるのか。なぜ一般競争入札でなく指名競争なのか。
○豊明も井戸がある。それを活用できないかと思う。

健康福祉委員会



主な意見

○自分もひとり親家庭だが、この補助制度を知らなかった。既に資格取得の申請をしてしまったが、その場合はどうなるのか。
○困窮者世帯への配布は連続した３カ月（11月～1月）の３回。1年のうち、なぜこの期間だけなのか。外国籍の方にも「まごころサポート便」は届けられているか。
○介護施設のベッドのセンサー使用は夜間だけか。ICT化によって介護士の負荷を軽くするはずが、日中に動くたびアラートが鳴ると、逆にスタッフに負担がかかるのではないか。

建設文教委員会



主な意見

○三崎水辺公園他の樹木等の管理が行き届いていない箇所がある。
○新給食センターの業者選定の問題。指定管理者の内部監査を行政任せにしないでほしい。透明性が必要。
○間米南部土地区画整理事業の水害対策はできているのか。
○火葬場の問題。
○前後駅前の寂しさの問題。
○栄小学校など南部に子ども専門の施設を造ってほしい。
○若い人が豊明市に住みたくなる施策が必要。

アンケート結果
参加32名

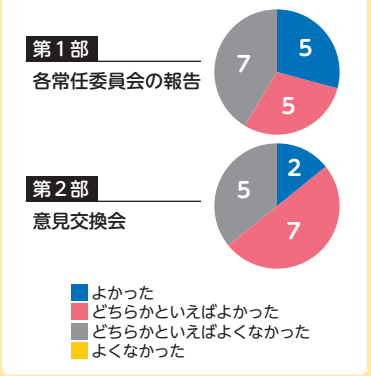


《主なご感想、ご提案など》

■第１部(各常任委員会からの報告)
・何を議論したかよく伝わりました
・具体的な説明が少なかった

■第２部(意見交換)
・市民意見に対する結果報告を
・議員自ら豊明発展のためどんどん提案企画してほしい

■自由意見
・意見交換や報告会など出席しなければ分からないことが多く、今後も積極的に参加出来たらよいと思います
・質問される方々へ明確に回答できない事柄も多く、議員の方々も参考になりよかったと思うが、今後に生かしてほしい



今回も多くの市民の方にお越しいただき、たくさんの貴重なご意見・ご提案等をいただき、ありがとうございました。
今後の市政に反映できるように努めていきたいと思います。

３月定例月議会議案等の審議結果

３月定例月議会は、２月26日から３月25日までの28日間にわたり開催し、議案36件、議員提出議案２件、請願２件などを審議しました。

※議長は採決に加わらない　○：賛成　×：反対　趣：趣旨採択　除：除斥

議案名（概要）	審議結果	会派名・議員名																		
		清和								市民派の会			未来クラブ		公明党		日本共産党	たんぽぽ	清澄	ひまわり	市政クラブ
		岡島ゆみこ	青木けんじ	近藤ひろひで	いとうひろし	服部龍一	鵜飼貞雄	月岡修一	毛受明宏	浅井たかお	こんどうのぶお	林ゆきひろ	中堀りゅういち	武谷としお	鈴木智和	一色美智子	郷右近修	ふじえ真理子	清水義昭	堀内ちほ	三浦桂司
令和７年度豊明市一般会計予算（予算総額291億5,700万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和７年度豊明市国民健康保険特別会計予算（予算総額57億4,590万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度豊明市土地取得特別会計予算（予算総額420万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度豊明市墓園事業特別会計予算（予算総額2,320万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和７年度豊明市介護保険特別会計予算（予算総額57億1,140万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和７年度豊明市後期高齢者医療特別会計予算（予算総額14億4,820万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和７年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計予算（予算総額6,290万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度豊明市下水道事業会計予算（予算総額19億1,660万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副市長の選任（小串真美氏（沓掛町）を選任、任期は４年）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公平委員会の委員の選任（得能一美氏（新栄町）を再任、任期は４年）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任（栗谷達也氏（日進市）を再任、任期は３年）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定事業の契約締結（(仮称)豊明市学校給食センター統合再整備等事業）（株式会社豊明スクールランチと契約締結）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和６年度豊明市一般会計補正予算（第９号）（小学校屋内運動場空調設備設置工事　約２億400万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
損害賠償の額を定めること（損害賠償の額の決定）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土地区画整理事業に伴う字の区域の変更（寺池土地区画整理事業の施行による字の区域変更）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線認定（土地区画整理等により８路線を認定）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市長等及び職員のハラスメント防止等に関する条例の制定（快適な職場環境の実現とハラスメントの根絶等のために制定）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
豊明市小中学校食物アレルギー対応委員会設置条例の制定（小中学校食物アレルギー対応委員会の設置のために制定）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市事務分掌条例の一部改正（令和７年度の行政機構に合わせた条例の整備に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市協働推進委員会条例の一部改正（次期政策立案に向けて委員会の再編に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正（マイナンバー法の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正（育児・介護休業法の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市職員の育児休業等に関する条例の一部改正（育児・介護休業法の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市職員互助会条例の一部改正（非常勤一般職員の互助会加入の規定に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（学校医（精神科）及びハラスメント審査会委員の新設に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
豊明市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正（国家公務員の給与改定に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案名（概要）	審議結果	岡島ゆみこ	青木けんじ	近藤ひろひで	いとうひろし	服部龍一	鵜飼貞雄	月岡修一	毛受明宏	浅井たかお	こんどうのぶお	林ゆきひろ	中堀りゅういち	武谷としお	鈴木智和	一色美智子	郷右近修	ふじえ真理子	清水義昭	堀内ちほ	三浦桂司
豊明市国民健康保険税条例の一部改正 （国民健康保険税の適正化を図るための改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
豊明市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 （間米南部土地区画整理区域内の建築物等に制限を定める改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
豊明市消防団員等公務災害補償条例の一部改正 （非常勤消防団員等の損害補償の基準の変更に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正 （非常勤消防団員等の退職報償金支給基準の見直しに伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和６年度豊明市一般会計補正予算（第10号） （財政調整基金積立金等　約11億5,600万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和６年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第３号） （国民健康保険財政調整基金積立金等　約4,000万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和６年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第４号） （介護給付費準備基金積立金等　約１億9,900万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和６年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号） （後期高齢者医療広域連合負担金　約71万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和６年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計補正予算（第１号） （売電収入等　約1,100万円の減額補正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度豊明市一般会計補正予算（第１号） （生活困窮者緊急生活支援事業委託料等　約4,800万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
■議員提出議案																					
豊明市議会議員政治倫理条例の一部改正 （豊明市議会議員政治倫理審査会の審査方法見直し）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
豊明市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正 （マイナンバー法の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
■請願																					
議会事務局職員の基礎教育と中立性確保等を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議長	○	○	○	×	×	×	×	趣	○	×	趣	×
いとうひろし議員の公選法違反の疑いに関する政治倫理審査会審査のやり直しを求める請願	不採択	×	×	×	除	×	×	×		○	○	○	×	×	×	×	趣	○	×	趣	×

※趣旨採択とは、採択に至らないものの趣旨には賛同できることです。

１月緊急議会議案等の審議結果

１月緊急議会は、１月23日に開催し、議案11件を審議しました。

※議長は採決に加わらない　○：賛成　×：反対　欠：欠席

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 （一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する法律の改正に伴う改正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
豊明市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 （国家公務員の給与改定に伴う改正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
豊明市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 （豊明市職員の給与に関する条例の一部改正等に伴う改正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正 （国家公務員の給与改定に伴う改正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
豊明市職員の給与に関する条例の一部改正 （国家公務員の給与改定に伴う改正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
豊明市地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正 （国家公務員の給与改定に伴う改正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和６年度豊明市一般会計補正予算（第８号） （報酬、給料、職員手当等　約４億1,700万円の追加補正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和６年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第２号） （給料、職員手当等　約470万円の追加補正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和６年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第３号） （要介護認定調査業務等　約300万円の追加補正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和６年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号） （報酬、職員手当等　約50万円の追加補正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和６年度豊明市下水道事業会計補正予算（第２号） （給料、職員手当等　約170万円の追加補正）	可決	○	○	○	欠	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

主な議案審査の中から

何がどのように

総務委員会

豊明市長等及び職員のハラスメント防止等に関する条例の制定について

1 議案が提出された背景

豊明市長等及び職員が互いに個人としての人格を尊重し信頼を深め、快適な職場環境を実現することで、互いの役割を十分に発揮できるようハラスメントの根絶及び未然防止に努める必要があるため、議案の提案がされました。被害の相談は、庁内の人事担当者のほかに、公平委員会委員にもできます。津島市、一宮市と並んで県内初の条例制定となります。

2 主な答弁

■各務原市の条例を参考にしたのは、ハラスメントの根絶と未然防止に努め、快適な職場環境を実現することを目的としており、豊明市に合わせやすいと判断した。
■審査会の人選は決まっていない。大学教授、弁護士、医者等ハラスメントの状況に合わせてケース・バイ・ケースになると思う。
■本条例の根幹は市政を停滞させないことであり、被害者の救済、迅速な対応、抑止力が重要。

健康福祉委員会

豊明市国民健康保険税条例の一部改正について

1 議案が提出された背景

平成30年度に国保制度改革によって県と市町村との共同運営となり、将来的に保険料水準の完全統一が目指される中で、県が示す標準保険料率との乖離がある部分について、将来を見据えて改定を進めていく。
本市の標準保険料率との乖離額は、改定前では2万円程度あるが、改定後は12,858円に縮まる。今後、引上げ幅が急激にならないよう配慮しつつ、令和7年度以降においても改定を考えていく。

2 主な答弁

■国保加入者の実績と推移は、令和５年度11,088人、令和６年度は見込みで10,500人、令和７年度は9,950人と見込んでいる。
■毎年度、軽減基準の見直しが国のほうで行われ、一定割合が維持されるように見直しもされている。
■国保税は、後期高齢者医療制度への支援金と、介護保険への納付金、医療保険の部分で成り立っており、各分野とも高齢化が進むと、必要な保険税も多くなる。

建設文教委員会

豊明市小中学校食物アレルギー対応委員会設置条例の制定について

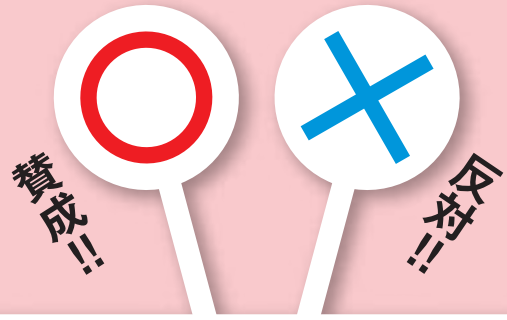
1 議案が提出された背景

豊明市立小中学校における食物アレルギーを有する児童及び生徒の健康かつ安心安全な学校生活及び健やかな成長を目的に、食物アレルギー対応について検討する豊明市小中学校食物アレルギー対応委員会を設置する必要があるため条例を制定する。主に新給食センターが令和９年９月より稼働することを見込みアレルギー対応給食の提供が始まることに伴い、このタイミングで提出された。

2 主な答弁

■委員は、小中学校長、養護教諭や栄養教諭など学校関係者、学校給食センター関係職員、医師など学識経験者、学校教育課職員、消防署職員を想定している。
■一つの目標として、令和９年９月の新給食センター稼働までにアレルギー対応のマニュアル作りが主な目的。
■令和６年５月時点の児童生徒数は5,142人でアレルギー対応が必要な児童生徒数は183人。

決まったのか



3 議案に対する主な意見

×の意見

議員が関係しているにも関わらず、議員との協議が全くなく勝手に議会に関することを対象にした条例であり、曖昧な条例をつくることで、職場環境で働きづらくなってしまうのではないか、反対。

○の意見

被害が迅速に対処される状況には、安心し働けると思う。議員の心ない発言が恫喝であると受け取られ、対処されるのであれば、安心でき抑止にもなると思い、賛成。

決

賛成多数で可決しました。安心して働ける環境が整備され、全ての人が尊重される社会を目指します。市長、副市長及び教育長と市職員が対象です。



3 議案に対する主な意見

×の意見

国保加入者が急激に減って、世帯所得も非常に低い。国保税の負担はもっと下げて、特に均等割の軽減策についてはもっと拡大することを求めて、反対。

○の意見

国民皆保険制度というのは本来、３割負担で医療を受けられて、お金の心配をあまりせずに、高額な医療を受けられるという医療制度ですばらしい。国民健康保険制度を廃止するわけにはいかない。もろ手を挙げて賛成とはいかないが制度維持のために、賛成。

決

賛成多数により可決しました。
この条例は、令和７年４月１日から施行され、令和７年度の保険税より課税額が変更となります。



3 議案に対する主な意見

×の意見

アレルギー対応品目が少なく、残念である。委員会を立ち上げるならもっと対応できる品目を増やす努力をすべき。また、全く子どもの意見を聞いていない、反対。

○の意見

今後、いろいろとアレルギー対応食を提供していく上で、このような委員会が必要となってくる。学校の教員を束ねる方が、この委員会や作業部会に入るということできめ細かい対応をお願いし、賛成。

決

賛成多数により可決されました。この条例は、令和７年４月１日から施行します。



令和７年度当初予算

議会へ提出された令和７年度当初予算について、議長を除いた19名の議員で構成する「予算特別委員会」を設置して審査しました。委員会は３月14・17日の２日間開催し、審査の結果、３月定例月議会の最終日に各会派が一般会計、各特別会計及び企業会計について討論を行いました。討論の要旨は以下のとおりです（文責は各会派にあります）。

清　和

令和７年度一般会計予算、各特別会計予算、企業会計予算に賛成

●特定任期付職員の弁護士採用により、一般職員の市民サービスの向上を目指し、市役所全体としての法的対応力の向上を期待します。

●合併処理浄化槽の設置及び維持管理に係る補助金が増額され、単独浄化槽やくみ取り式の利用から、合併処理浄化槽へ移行することで、環境負荷軽減につながるので、引き続きの周知をお願いします。

●「とよあけ事業者応援選べる補助金」を新たに設け、市内中小企業などの事業者に対し、雇用確保・人材育成・販路拡大などに活用していただきたい。

●治水対策としての、勅使グラウンドでの防災調整池の整備を進めていただくとともに、「田んぼダム」の取り組みも進めていただき水害への強化をお願いし、令和７年度予算全議案に賛成。

市民派の会

民間移行進むが職員増。
物価高で負担大も市民に寄り添う姿勢がない予算

民間移行が進み、委託料が増大し、苦情の多い公園指定管理、高い管理料の公共施設包括管理、随意契約の新給食センターコンサル等も継続。一方で職員は増え、高給の弁護士採用、警察OBを配置、庁舎内に防犯カメラ設置も。税収増の中、物価高騰が一段と進み、市民負担が大きいのに市民生活に寄り添う姿勢が見られない。国保は経済的弱者が多く加入しているが、毎年税率を上げ、負担を強いている。介護保険では保険料が高く、基金への過大な積み上げ。墓園事業では指定管理の効果が見られない。後期高齢は年金も少なく物価高で生活が苦しい中、負担が大きい。以上の理由から、慎重審議と真摯な対応を求めて、一般会計、国保、介護保険、墓園事業、後期高齢の特別会計に反対。

日本共産党

令和７年度
一般会計予算に賛成

豊明市は人口減少、高齢化、物価と人件費の高騰が影響するので、予算額の増減だけだと各施策の力の入り方がつかみにくい状況になってきた。賛成できる点は学校給食の自己負担額を据え置くために賄材料費の拠出を続けること。高齢者のタクシー補助を継続し外出支援をすること。戦後80年の平和祈念事業の支援をすることが挙げられる。図書館の資料購入費は、物価高騰を考慮して、従前と同じ冊数を買える金額に増額するべきと考えた。

たんぽぽ

６万８千とおりの市民の生活
もっとリアルに把握を！一般会計には 反対

限られた経営資源をいかに公正・公平に配分し、将来世代に持続可能な形でこのまちを手渡していくかが問われている◆合併処理浄化槽設置補助は単価が過大◆事業者応援選べる補助金は対処療法でなく、根本的解決に至る使い方を◆勅使グラウンドに防災調整池設置は考察が甘く、指摘事項が活かされず◆生徒会提案事業補助金は100万円ありきでなく、生徒も議決権を持ち学校運営に参画する仕組みが先では◆新給食センター整備はゼロカーボンの視点が貧弱。次世代に誇れる最先端施設を!

未来クラブ

令和７年度当初予算に賛成

今年度の豊明市の予算は、過去最大となった昨年度からさらに10.4%増の440億6,940万円となった。市民税が定額減税の影響もなくなり10%増加し、法人事業税交付金も見込みではあるが33.3%の増加となっている。基金と市債については、良好な水準を維持しており適切な運営と判断した。歳出では、行政手続きのデジタル化が進む予算や重層的支援体制整備が一層推進される予算、不登校児童生徒保護者支援事業など誰ひとり取り残さないための新しい事業などがあり評価する。過去の取り組みを踏まえ、今の地域課題に取り組み、未来に向けた責任を果たしている予算なのかを確認した。財政運営のバランス、現在と未来との投資バランスに優れている予算と判断し、賛成とする。

公明党

令和７年度一般会計・各特別会計・企業会計予算に賛成

私たち豊明市公明党は、毎年予算要望をさせていただいております。本年度の予算は多くの要望が反映され、未来を見据えた持続可能な施策を展開し、市民の皆様の生活を支える重要な内容が盛り込まれました。財源の確保と配分についても、持続可能性を確保しつつ、将来世代への負担軽減に取り組んでいる点は評価に値します。主要事業については、「こどもまんなか社会の実現」を目指した施策が充実している点を評価します。開発関連費用、防災調整池の整備など、地域の安全と発展を両立させる施策は、市民の皆様の信頼に応えるものと理解します。各特別会計及び企業会計の予算についても、将来を見据えながら市民を第一に考え、市民に寄り添った予算となっていると判断し賛成といたします。

清　澄

令和７年度
当初予算案に賛成

令和7年度当初予算の総額は約440億円、うち一般会計の総額は豊明市当初予算としては過去最大規模の約291億円となった。歳入における市税については、賃金の上昇、企業利益の増加により、前年度と比べ、個人市民税、法人市民税ともに大幅な増額を見込んだ。歳出における目玉事業は、間米南部地区の区画整理、防災調整池や田んぼダム設置、システム標準化・デジタル化、合併処理浄化槽への補助等々とのこと。全体を鑑みれば及第点を上回っていると判断し、賛成とする。

ひまわり

令和７年度豊明市
当初予算も市民の皆様に
寄り添った予算と考え賛成！

令和7年度の予算は過去最大の数字だが、国庫補助金・基金・市債等の財源をうまく活用している。間米南部土地区画整理事業に大きな補助額がついたことは市職員の努力と評価をしたい。令和６年度は地域包括ケアを全世代に対し取り組み、令和7年度はさらに発展をし、福祉事業では市の相談窓口と機能を一元化し、体制強化がされる。不登校児童生徒・保護者への支援の拡充、３中学生徒からの提案を具体化する「生徒会提案事業費補助金」等、全市民に寄り添った予算に期待し賛成。

市政クラブ

令和７年度
予算に賛成

新年度予算は、自然災害や危機管理対応、物価高対応や少子高齢化対策、公共施設の老朽化、ＤＸの推進などの対策予算となっている。

新規事業では、防犯パトロールカーの買換え、障がいのある児童への学校トイレ改修、合併処理浄化槽への補助、勅使グラウンド地下へ調整池確保など、限られた財源の中で、前年度の決算状況を鑑み、攻めの予算と守りの予算を見極めて、取り組んでいる。アンテナを高くして、有利な起債発行や、国や県から補助金確保に努めている予算なので賛成する。



一般質問

新年度の予算を中心に各会派を代表して4名の議員が、また、行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について16名の議員が質問に立ちました。その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。
詳しくは各議員の欄にあるQRコードから動画をご覧ください。

代表質問

清和　青木　けんじ　議員

令和7年度当初予算と施政方針について



コメント

合併処理浄化槽維持管理補助では、すでに合併処理浄化槽を使用し、法定検査、点検、清掃を適切に行っている方には維持管理の補助があるとの答弁を受けた。そのほか、防災対策、新市街地・工業団地整備、公園改修、小中学校における学習環境、公共施設長寿命化など全９項目についての質問をした。

質問の趣旨

①全世代・基幹型地域包括センター管理運営事業について、この事業はどのようなものか、令和７年度は重層支援センターがどう拡充していくのか伺いたい。
②合併処理浄化槽設置補助事業及び維持管理補助事業について、当該地域で説明会が開かれているが、この事業の補助の内容について伺いたい。

答弁

①自立生活相談センター「よりそい」を委託事業から直営事業に切り替え、就労支援、居住支援、ひきこもり支援、不登校支援などの相談業務を集約して重層支援センターに併設予定。
②合併処理浄化槽設置補助事業は、合併処理浄化槽への転換を促進し、生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するための事業で、補助額を大幅に拡充し市民の負担軽減を図る。

代表質問

市民派の会　林　ゆきひろ　議員

市民に寄り添った令和7年度予算編成を求めて



コメント

病児保育や一時保育、保育士の充実、高校・大学の子を持つ家庭への支援等、もっと子育て支援策を充実させてＰＲする必要があります。市民生活への支援も困っている家庭を把握し、制度の見直しも考えるべきです。その他、柿ノ木工業団地や治水対策、公共施設長寿命化方針などについて質問しました。

質問の趣旨

市街地開発を進めてきた寺池地区では住宅が建ち始めている。子育て世帯が住みたいと思えるような子育て支援策はあるのか、どのようにＰＲするのか。また、市民生活は物価高騰の影響が大きく、依然として厳しい。市民に寄り添い、必要なところへの支援はどのように考えているか、質問した。

答弁

本市はもともと住宅需要が高い。子育て支援センター設置等、需要の高いものから順に取り組み、結果的に住みたい人が増えていくことが望ましいと考えている。市民生活への支援では、給食費補助、高齢者タクシー助成、新入学祝金など行っている。市民生活を第一に、必要な事業は時期を見極め補正予算も考えている。

代表質問

未来クラブ　武谷　としお　議員

令和7年度当初予算と施政方針について

質問の趣旨

将来の有権者、納税義務者になる中高生など若い世代が、豊明市に住んで、住みよい豊明市になっていくことを実感していただきたいと思うが、今後の豊明市を支えていく若い世代の意見を反映した施策があるか質問しました。

答弁

生徒会提案事業費補助金事業、防犯設備設置工事事業及び道路維持事業の３つがあります。生徒会が企画した事業について補助をします。また、防犯灯の設置の要望を受けて予算を計上しました。道路維持事業では自転車通学に支障となるおそれのある箇所の草刈り回数を増やして重点的に実施します。



コメント

今後も児童生徒など有権者として投票行動で意思表示のできない子どもたちの意見もぜひ、市政に生かしていただきたいと思います。その他、土地区画整理事業について、地域要望工事について、教育環境整備について、大規模災害を見据えた対策について、公園改修事業について質問しました。

代表質問

公明党　一色　美智子　議員

市民の命を守る防災・減災対策について

質問の趣旨

１　木造住宅耐震診断について
2000年５月以前に建てられた木造住宅の耐震化も時限的、段階的に支援する考えを伺う。
２　本市の防災会議の委員について、女性委員を増やす取り組みを伺う。
３　女性視点からの防災ガイドブックの作成、女性向け防災講演会の開催について伺う。

答弁

１　現時点で、時限的、段階的な支援策の計画はないが、県を通じて補助制度の新設を働きかけていきたい。
２　委員22名のうち女性は１名。今後、女性の学識経験者や民生委員の皆様に参画を働きかけていきたい。
３　市民の方々が分かりやすいガイドブックの作成や、女性向けの講演会も検討していきたい。



コメント

今回の代表質問では、「令和７年度当初予算・施政方針・公明党からの予算要望」の中で、女性の視点からの防災、減災対策について伺いました。
大規模災害が起こるたびに育児や介護を主に携わることが多い女性の声が、災害対応に反映されにくいことが課題と考えます。

個人質問

いとう　ひろし　議員

豊明市の農業活性化政策について

質問の趣旨

若い方々が農業に興味を持ち、次世代へつなげ、持続可能なまち、農業の活性化の取り組みが必要と感じます。農業に興味を持つきっかけとなる市民菜園とその設備について伺います。また、遊休農地の再利用についてと、令和６年度に市内に開業したＪＡの産直所の状況と今後の展開について教えてください。

答弁

市内に市民菜園は５カ所、135区画あり、うち２カ所に水道があり、トイレや休憩所はない。後継者不足等により管理困難な農地が増えている。新規就農希望者が農地バンクを利用しても、条件が合わない場合が増えた。令和７年度にＪＡが産直所隣に研修農園の開園を予定し、本市における就農等の拠点になると考える。



コメント

市民菜園を家族や友人達とレジャー感覚で楽しめる場所に。肥料等も値上がりし、野菜やお米の価格が高騰している今、生産者の方の収入を考えれば、現価格が正常なのかも知れない。お米の価格は消費者の理解も必要。もうかる農業に転換して新規就農者や後継者を増やしていきたい。研修農園に期待します。

豆知識①　当初予算とは…市長が年度開始前までに調製する一会計年度を通じて一切の歳入歳出を計上する予算のこと。

個人質問

ふじえ　真理子　議員

豊明市ゼロカーボンシティ宣言し、未来起点のロードマップを



質問の趣旨

地球温暖化の影響が深刻化。よりレベルの高い次元で温室効果ガス排出抑制に取り組む責任がある。５年後、同排出量46%減(2013年度比)の目標達成に向け、ペロブスカイト太陽電池や、廃食用油を持続可能な航空燃料ＳＡＦに活用するなど積極的な取り組みを求める。ドイツのシュタットベルケについて市の見解を問う。

答弁

温室効果ガス排出削減は12.6%(令和３年度末)。令和７年度は蓄電池補助も考えている。ペロブスカイト太陽電池は民間事業者の動向を注視。廃食用油の資源化は現在の廃油石鹸含め、何が最適か研究していく。シュタットベルケは電気の地産地消の観点で興味深い事業。ゼロカーボンシティ宣言の考えはない。

コメント

公共施設全体の年間電気使用料は約１億６千万円で市外へ流出。電気の地産地消など公益性と経済性を両立させ、生み出す財源を地域の課題解決に使う地域内経済循環システムの構築を。
市としての「覚悟と責任」を明確に示し、着実に実行していくためにも世界首長誓約をはじめ、ゼロカーボンシティ宣言は必須。

個人質問

三浦　桂司　議員

災害時の事前事後対応について(防災訓練にトイレ講習を)



質問の趣旨

災害時のトイレ対策は、大きな課題である。通称「うんこマダム」の椿佳代さんの講演を聞く機会があり、能登半島地震で詰まったトイレの清掃などのボランティアをした際のお話を伺った。豊明市の防災訓練に合わせて、家庭や避難所のトイレの使い方、排せつ物の保管や処理方法などの講演の依頼をしてはどうか。

答弁

トイレ問題は、最重要項目だと認識している。令和６年度の栄小学校での防災訓練では、事前防災や防災リスク、コミュニケーションの講演と、簡易トイレとマンホールトイレ設置訓練を行った。令和７年度に予定している沓掛小学校での防災訓練では、提案の実体験に基づく講演などを、検討してみたい。

コメント

ほか質問と回答は以下のとおり。
・災害発生時の仮設住宅は、中央公園に 96 戸、落合公園に 56 戸、唐竹公園に 64 戸を予定。
・全庁的にＬＩＮＥを使ったサービスを令和７年度から導入する。今後、道路の不具合、不法投棄、交通安全等の連絡などをＬＩＮＥから通報できるサービスの導入の検討を進めたい。

個人質問

服部　龍一　議員

三崎水辺公園の桜の維持管理について



質問の趣旨

三崎水辺公園は、多くの皆さんが、毎年花見を楽しみにしている場所ですが、その桜の木も植えられて50年近く過ぎており、老化している木も数多く見られます。今後の維持管理についてと、同公園の大規模改修工事後のリニューアルオープンイベントを開催してはどうかについて質問しました。

答弁

市内都市公園の木の老木化については、指定管理者が日常点検や定期点検を行っています。三崎水辺公園で老化している桜の木は13本あり、今回の改修工事で植え替えをする予定です。改修工事の終了する頃に、リニューアルオープンイベントや桜フラワーフェスタでのお披露目を行う形で考えています。

コメント

三崎水辺公園の桜の木に関しては、皆さんの関心が非常に高く、様々な要望を聞いていました。今回の大規模改修工事で、植え替えが予定されています。また、市民の方からの寄付を募っての植え替えについても前向きな回答をいただきましたので、今後を大変楽しみにしています。

豆知識② 代表質問とは…各会派の代表者（一人会派は含まれません）が、毎年3月定例月議会で、新年度予算や施政方針などについて質問します。

個人質問 こんどう　のぶお　議員
こどもたちの遊び場を増やそう



質問の趣旨

こどものやりたいを大切に、自分の責任で自由に遊べる「プレーパーク」という遊び場が全国に広がりをみせています。全ての人が通過するこども時代。人は遊びを通じて自分を知り、挑戦することを学び、こんなふうに生きていきたいという意欲を持ちます。この様なこどもを社会全体で育てていくことが重要です。

答弁

プレーパークがあったほうが望ましいと思います。保護者の皆様もこどもが外で遊びたいときに付き合ってあげられるよう、こどもまんなか社会を目指していけるように、市役所だけでなくいろいろな方が連携しこどもまんなか社会の実現、こどもが外で遊べる環境をつくっていきたいとの、市長の答弁がありました。

コメント

「プレーパーク」は間米南部北側の公園緑地に設置するのがベストと思います。大切なことはこどもたちが豊明に帰るには原体験が必要です。原体験とは五感を重視した直接体験です。幼児から小学校にかけての時期に遊びの中で自然に体験してきたものであります。ほかに防災についても質問をしました。

個人質問 鈴木　智和　議員
ごみ出しカレンダー作成について



質問の趣旨

デジタル版ごみ出しカレンダーは、スマートフォンやタブレット端末からいつでもどこでもアクセスできる。デジタル化により、紙の使用量を減らすことで環境負荷の低減に貢献することにもなる。
そこで、デジタル版ごみ出しカレンダーを作成した場合の費用や効果について伺う。

答弁

現状ですと、例えば、お住まいの町内ごとにごみ出しカレンダーを作成し、市のホームページに掲載することであれば、特に費用が発生することはない。お住まいの場所ごとのカレンダーをご覧いただけば、適正なごみ出しにつながり、市民の皆様の利便性も向上するなど、一定程度の効果はあると考える。

コメント

デジタル版ごみ出しカレンダーは、収集作業の効率化やリサイクル率の向上につながり、結果税金の有効活用にも貢献する。その他、期日前投票所に行くための手段として、ひまわりバスを無料で利用できないか。地震による電気火災対策として「感震ブレーカー」導入支援事業について質問した。

個人質問 近藤　ひろひで　議員
「歩道橋・市道のネーミングライツ」について



質問の趣旨

本市には、市道に架かる歩道橋と市道に「ネーミングライツ制度」がありますが、その制度は具体的にどのような内容で、どのような規定ですか。そして、まだ制度自体が周知不足だと思われます。貴重な制度なので積極的に取り組み、規定も企業様の都合を最優先にして要綱の見直しが必要であれば検討してください。

答弁

この制度は、豊明市が管理する「横断歩道橋及び市道に通称名をつけることができるパートナーを募集する制度」です。規定の料金をご負担いただき、周辺の清掃美化活動等、地域貢献の場として活用をしていただきます。制度を進めていただく上で、問題点・改善すべき点は規定の改正も含め総合的に検討していきます。

コメント

現在、この制度でご協力いただいている企業様は１社です。この状況は周知不足によるものが大きいと考えます。企業様のコマーシャルに活用していただける制度であり、地域貢献の場としても活用していただけます。ぜひ、市内の企業様にご協力いただき、積極的に活用していただきいと思います。

個人質問

中堀　りゅういち　議員
重層支援センターについて

質問の趣旨

地域社会においては、複雑化した生活課題が増加しており、様々な背景を持つ方々への支援が求められています。重層支援センターは地域住民が抱える問題に対して包括的かつ継続的な支援を提供することを目的としており、地域共生社会の実現に向けふつうに暮らせるしあわせを支えるための重要な基盤になると考え、質問します。

答弁

重層支援センターは、各相談機関の後方支援という、「支援者支援」が主たる役割であり、市民の直接の相談を想定した窓口ではありません。しかし、どこにも相談先がない場合は、どんな分野でも一旦受け止め、相談者に伴走して、どこに相談すればよいか一緒に考えて対応していきたいと考えています。



コメント

重層支援センターは、地域における多様な支援ニーズに応える重要な拠点です。専門的な知識を持つ職員が、個々の状況に応じた支援を提供し、地域住民の生活の質を向上させる役割を果たしています。相談しやすい環境づくりが進んでおり、地域共生社会の実現に向けた大きな一歩となっています。

個人質問

浅井　たかお　議員
固定資産への課税は適正・公平にできているか

質問の趣旨

前回の一般質問では、不法建築について伺いましたが、建物建設の必須事項である建築確認の全体像が、規制緩和で不明になっていることも分かりました。課税対象である固定資産、すなわち土地や建物の動きは適切に把握できているか、また、課税に反映されているか、質問しました。

答弁

固定資産評価のために土地の利用状況や新築・増築、取壊しなどについて、全て踏査式の現地調査を実施している。市街化区域は毎年全域、調整区域は３年に１回。本市では航空写真は３年に１回単独で発注し、１月１日を基準日として評価替えの時期に実施。近隣市町といろいろ情報交換は毎年履行したいと思う。



コメント

東郷町、日進市、みよし市、長久手市の４市町は、合同で毎年航空写真を撮っていて、費用は面積に応じて按分です。
本市の踏査式での現地調査は、職員の負担と時間的ロスが著しく効率がよくないと思います。本市も近隣４市町との合同航空写真撮影を是非とも検討していただきたい。

個人質問

鵜飼　貞雄　議員
いじめ問題と不登校への対応について

質問の趣旨

学校での問題でなくならないものが、いじめです。いじめる側は軽い気持ちでも、いじめを受ける側はとても傷つき、その傷は深いものとなります。このいじめが原因で、結果的に不登校にもつながります。また、不登校児童生徒の保護者は、孤立感や精神的負担を抱える傾向にあり保護者への支援も必要となっています。

答弁

令和７年度から子育ての不安を持つ保護者向けに相談会を実施する予定。不登校児童などの保護者として経験ある人を相談員として、気軽に相談できる相談会を開催します。また不登校支援のポータルサイトを立ち上げ、当事者目線で情報発信し悩みを抱える保護者がアクセスしやすい内容で構築したいと考えています。



コメント

深刻ないじめに遭っている子は、本当につらい日々を送っています。いじめる人間が普通に学校に通い、いじめられる子が学校に行けない理不尽な状況に憤りを隠せません。教委や学校現場はいじめ根絶に向けた強い意思表示と対策強化に取り組んでほしい。いじめにおける私の思いは是非動画にてご視聴ください。

個人質問

堀内　ちほ　議員

不登校児童生徒について

質問の趣旨

◇不登校の理由には様々な背景がある。市内には「フレンドひまわり勅使」「フレンドひまわり栄」と子どもたちが安心して過ごせる施設が２カ所あるが利用者は少ない。給食、人員の配置等で前日までに出席連絡が必要。不登校の子が前日に連絡ができるだろうか？使い勝手のよい居場所にできないかと思い質問した。

答弁

「フレンドひまわり」は多様な受け皿として、従来の運営方法にはこだわらず、柔軟な対応を行いたい。令和７年度からは「不登校対策」として自立支援的な側面からもアプローチできるよう、新たに任用する公認心理師を含めた多職種による支援チームによる相談体制の拡充等、総合的に対応ができる体制を整える。



コメント

現在、中学校101名、小学校59名の不登校児童生徒がいる。新たな取り組みに期待をしたい。２つ目は「動物墓地の必要性」について質問した。家族の一員であるペットが亡くなったとき、安心し埋葬できる場所を求める方が多くいる。勅使墓園に人とペットが一緒に納骨できる新たな墓地の形を提案した。

個人質問

岡島　ゆみこ　議員

介護認定について

質問の趣旨

年々65歳以上の人口比率が上昇しており、今後も割合に応じて介護福祉サービスを必要とする人が増加していくと予想されます。
介護認定を申請する際の流れについて、審査会開催の実施と認定結果、認定結果までの所要日数の短縮に関して質問をしました。

答弁

介護や支援が必要になったときは、長寿課窓口に介護認定の申請をお願いします。認定調査員が申請者のご自宅で聞き取り調査を行います。その後、介護認定審査会で審査を行い要支援・要介護等の認定結果が通知されます。申請から約35日間で認定結果が出ます。認定結果までの期間が短くなるよう取り組んでいきます。



コメント

介護認定結果通知までの日数はデジタル化により短縮される傾向にあります。がん等の症状に応じて日数短縮対応が可能なこともあるので、まずは長寿課へお問合せください。ほかに、学校や公園で使用禁止の遊具について質問し、安全で楽しく子どもたちが遊べるよう速やかな対応を要望しました。

個人質問

清水　義昭　議員

行政事務のデジタル化やキャッシュレス決済導入について

質問の趣旨

これまで議会において、行政事務のデジタル化、キャッシュレス決済の導入はいかがかと繰り返し提案をしてきた。マイナンバーカードをはじめとした行政事務のデジタル化が進む中、市民の利便性、市の事務処理の最適化に向け、令和７年度予算にどのように反映したのかについて質問を行った。

答弁

デジタル実装を３点導入する。１点目が、あいち電子申請・届出システムの窓口予約機能にキャッシュレス決済や予約制での相談業務。２点目が、ＬＩＮＥを使ってオンライン手続ができるサービス。３点目が、現金の取扱いが多い市役所の窓口でのキャッシュレス決済を可能とし、大幅な改善ができるようにする。



コメント

令和７年度の方針、予算について計13点を挙げ、様々な視点から質問をしました。その他、団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年問題の一つとして、身寄りがない方の最後についても質問しています。ぜひとも上の二次元コードを読み取っていただき質問の動画をご覧いただければと思います。

豆知識③ 会派とは…市政について、同じ考え方や意見をもっている議員が集まって結成しています。本市議会は一人会派を含め9つの会派があります。

個人質問

月岡　修一　議員

公園の指定管理者の在り方を検討していただきたい



質問の趣旨

①指定管理者が公園の植栽の剪定などをした際、市職員は作業後の現場の仕上がりを確認しているか。
②市は指定管理者に対する指導をどのようにしているか。
③費用対効果を考えた場合、予算に見合った仕事ができていなければ、予算の削減も検討をすべきではないか。

答弁

公園パトロールにより直接確認を行い、やり直しなどの指導を行っている。また、毎月の報告書などで現場写真の確認も実施している。草刈りや植栽の剪定作業での出来栄えについてお叱りをいただくことが多いので、維持管理については事業計画を見直し、効果的な作業工程で実施し作業後の現場確認を徹底する。

コメント

ほかに、リサイクルとともにリユースの促進を進めるべきではないかと質問をした。今は全ての物価が上昇の様相を呈している。生活苦に陥っている状況を打破するためにはものを大切に扱うことと、必要がなくなったものを必要な人が譲り受けられるシステムと場所が必要である。

個人質問

林　ゆきひろ　議員

高齢者世帯への支援について
住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために



質問の趣旨

全国的に高齢化が進み、本市も４人に１人が高齢者。核家族化、晩婚化もあり、独居の高齢者や高齢夫婦世帯も増えている。地域の相互扶助も難しくなっている中、今後の急速な介護需要の増加や介護職不足に対して、市はどのように対応するのか。本市の高齢者への支援策や介護の充足状況などについて、質問しました。

答弁

高齢者が将来起こり得るリスクを考え、地域とのつながりをつくるため、様々なサービスに参加する、その周知が大事と考えている。介護の充足状況は適正委員会で話を聞いているが、市民が市内の事業所だけを使っているわけではないので、把握しきれない。県の運営指導等で同行した際に話を聞き、対応していく。

コメント

2024年に訪問介護の単価引下げがあり、介護事業者の倒産が過去最大となりました。また、県の調査でも介護職員の不足が見込まれています。市内事業者の実態を把握して、安心して暮らし続けられるために、市独自の対策が必要と考えます。その他、会計年度任用職員の処遇改善についても質問しました。

個人質問

郷右近　修　議員

下水道の維持管理と災害対策について



質問の趣旨

人口減少などによって下水道の維持管理が難しくなることが予想されている。下水道事業の民営化や統廃合の方針が県から示されているが、境川流域下水道にそういった方針は示されているか。また、地震のときでも使えるように、市街化区域の既存の下水道も含めて、合併処理浄化槽に変えていってはどうかと質問した。

答弁

全県域汚水適正処理構想において、境川流域下水道は豊田、みよしの農業集落排水、みよしのコミュニティープラントの統合を進める。現時点で民営化の方針は示されていない。あいち地震対策アクションプランに基づき対策を進めており、市街化区域は引き続き流域下水道で汚水処理をしてゆく。

コメント

自然流下を無視した設備的統廃合の方針がないということはよいが、経営統合と民営化についての方針は「現在はない」という答弁だった。上工下水の民営化をした宮城県では直営時の点検作業マニュアル不備によって上水道の水質汚濁が起きている。上下水の直営を今後も求めてゆく必要があると考えた。

Topics

議会運営委員会行政視察

令和7年 1/28

委員長　いとうひろし　副委員長　鈴木智和
委　員　青木けんじ　こんどうのぶお　近藤ひろひで　林ゆきひろ　鵜飼貞雄

■三重県いなべ市　いなべ市役所

「市議会モニター」について伺いました。この制度は市民の方から市議会への様々なご意見等をお聞きする取り組みです。令和6年度に開始した制度でありますが、14名もの応募があり、多くの意見や提言をいただけています。意見の活用状況を可視化することで、モニターの方の意識向上にもつながっています。

いなべ市議会は期数の浅い議員が過半数を占めており、チャレンジ精神と熱量を感じました。本市議会も市民の皆さんに関心を持ってもらい傍聴者や議会報告会、意見交換会への参加をより増やしていきたいです。



■三重県四日市市　四日市市役所

「決算審査と予算審査を連動させる政策サイクルの仕組み」について伺いました。8月の決算委員会での、前年度決算の審査後、委員会から市長へ次年度予算に反映させたい内容の提言を行っています。翌年2月の次年度予算案の審査で、提言内容が反映されたか確認することで、議会の意思を予算の反映させることを目指す取り組みです。この取り組みを行うに際して、委員の任期を2年に変更しています。また、市民参加の推進、情報共有を進めており、議員間討議なども活発に積極的に取り組んでおられました。



豊明市・日進市・東郷町議会議員合同研修会

令和7年 1/30

日進市民会館小ホールにて、豊明市・日進市・東郷町議会議員合同研修会が開催されました。例年行われているこの研修会。今年度は講師に、中京大学経済学部准教授の齊藤由里恵氏をお迎えし「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化について」のテーマで講演をしていただきました。講演内容は5つの項目から成り立ち、「地方財政制度のマクロフレーム」「地方財政計画」「地方財政の現状」「地方財政に何が求められるか」「地方財政の課題への対応」の解説がありました。今後迫りくる団塊ジュニア世代の高齢化をはじめとした高齢の単身世帯の急増、各地域で大きく異なる人口動態への対応、市町村間の広域連携、都道府県による補完・支援などを活用した広域的なまちづくり、施設・インフラ等の資源の活用、専門人材の確保・育成などの取り組みを共同で行っていくことが効果的であり、コロナ禍以降求められる地方財政運営の在り方として、ガバナンスやマネジメント力強化の必要性が示されました。

少子高齢化による、歳入の減少や歳出の増加など課題は多く、その中でいかにバランス感覚をもって優先すべき事業を選択するか、単独の自治体だけでなく、近隣の自治体の持つ特性を互いに活用し合うことも、無駄のない事業運営につながることであると考えさせられた講演であったと思います。



豊明市議会議員政治倫理審査会

豊明市議会は令和２年12月21日、豊明市議会議員政治倫理条例（以下条例という）を制定しました。この条例に基づき、令和６年10月30日及び令和６年12月11日にいとうひろし議員に対し２件の審査請求がありましたので、豊明市議会議員政治倫理審査会（以下審査会という）を設置し、審査を行いました。

それぞれの審査請求の審査が令和７年２月13日に終了しましたので、報告いたします。

いとうひろし議員に対する審査結果の概要

▼審査事由
第三者のプライバシー保護等のため、非公開。

▼審査結果
２件の審査請求は、ともに本審査会の審査に適さない。

▼審査の経過
- 委員長・副委員長を互選し、委員長　郷右近修議員、副委員長　武谷としお議員とした。
- 審査会の進め方を協議し、審査方法を決定した。
- 条例第９条第５項の規定に基づき、審査会の公開について協議し、第三者のプライバシー保護等のため出席委員の３分の２以上の合意により、以降の審査会を非公開と決定した。

豊明市内在住・在学・在勤の方から、
表紙を飾る写真・絵画・イラストを

ご応募お待ちしています！

募集します。

豊明市にゆかりのあるものや、
季節感のある作品をお待ちしております。

宛　先　〒470-1195　豊明市新田町子持松１番地１
豊明市議会　議会だより編集委員会

メール　gikai@city.toyoake.lg.jp

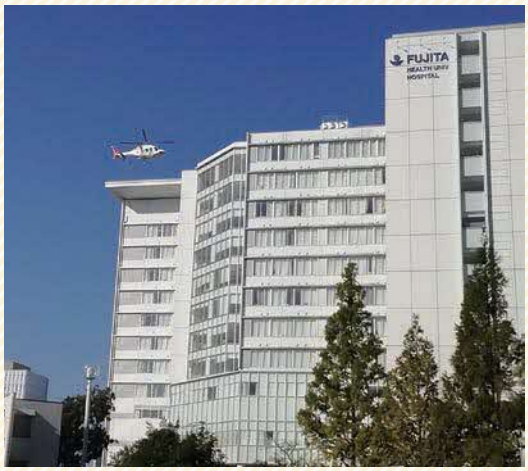
応募方法は、下記QRコードからご確認ください。
表紙は議会だより編集委員会で選定し、採用された方にはご連絡いたします。8月1日発行分の締切は6月11日（水）です。

6月定例月議会の予定

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2 本会議 （議案上程、提案説明）	3	4	5 本会議 （一般質問）	6 本会議 （一般質問）	7
8	9 本会議 （一般質問）	10 本会議 （一般質問）	11	12 本会議 （議案質疑、委員会付託）	13 総務委員会	14
15	16 健康福祉委員会	17 建設文教委員会	18	19	20	21
22	23	24 本会議 （委員長報告、討論、採決） 全員協議会	25	26	27	28

※開会議会は、5月15日（木）の開催を予定しています。
※上記は予定のため、日程等が変更される場合があります。 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

表紙写真・絵画へご応募いただきありがとうございます



市議会だよりでは、皆さんの応募された作品の中から、議会だより編集委員会で選考し、表紙に掲載しています。
紙面の都合上、すべての作品を表紙に掲載できませんでしたが、どれも素晴らしい作品でした。感謝の気持ちをこめて、今までに応募された皆さんの作品の一部を紹介いたします。
引き続き、写真・絵画・イラストの募集をします。
表紙作品に題字や目次等がかぶることとなります。ご了承の上、ご応募いただきますようお願い申し上げます。
応募方法は 17 ページの案内をご確認ください。

編集後記

今回の特集ページでは、令和7年1月に開催した「豊明市議会 議会報告会」をテーマに取り上げました。ご参加いただいた方におかれましては、この場を借りてお礼申し上げます。今年度も議会報告会や地域別意見交換会など皆様のお声を聞く機会を設け、市政に反映できるよう努めてまいります。議会報告会などのイベントは市議会だよりなどでご案内しますので、ご参加いただきますようお願い申しあげます。（浅井）

発行：豊明市議会
編集：議会だより編集委員会
電話：0562-92-1121
メール：gikai@city.toyoake.lg.jp
詳しい情報は豊明市議会ホームページをご覧ください。
豊明市議会 検索
市議会HP

次回の議会だよりは６月１日発行